

1. 現況

村松観光開発会館（ふるさと会館）について

施設名称	村松観光開発会館（ふるさと会館）
施設概要	村松公園の入口に位置する村松観光開発会館は、村松公園に訪れた際の休憩所として多くの方から利用されています。1 階は気軽にお食事が楽しめる食堂や売店になっており、お昼時やちょっとした休憩で賑わっています。2 階には会議や宿泊に利用できる和室を完備しており、各種団体の会議・宴会や観光や仕事の宿泊所として広く利用されています。
建築年	1978 年（昭和 53 年）3 月
構造種別	鉄筋コンクリート 2 階建、床面積 338.4 m ²
施設機能	食堂、物品販売、観光案内所、宿泊施設、休憩施設

村松観光開発会館（ふるさと会館）周辺の主な施設

施設名	概要
シカ園	○建築年：1983 年 木造建築：14.9 m ² ○飼育種類はヤクシカで繁殖を抑えるため雌雄分離して飼育している ○村松観光開発会館で餌の購入可能 ※設置場所は移動が可能
忠犬タマ公銅像・石碑	○飼い主を雪崩から 2 回救出した猟犬の功績をたたえたもの ※設置場所は移動が可能

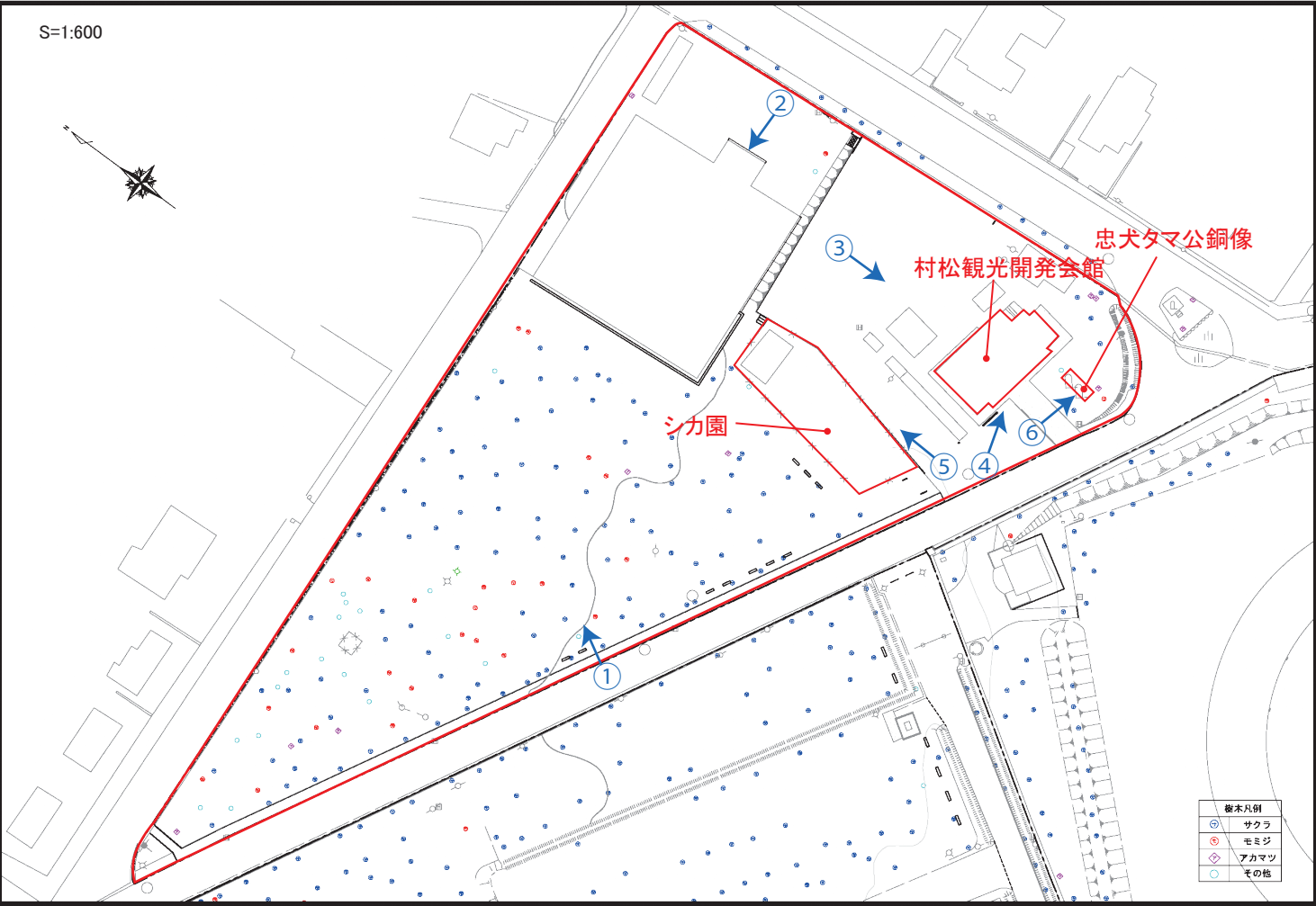


図 村松観光開発会館周辺図

①桜並木



②武道館



③村松観光開発会館（裏）



④村松観光開発会館（表）



⑤シカ園



⑥忠犬タマ公の像



2. 設置者と事業者の役割分担（案）

公園管理者（五泉市）	運営事業者
【整備等】 ○村松観光開発会館及び隣接施設の撤去・整地 ○電気、水道等のインフラ整備 ○忠犬タマ公銅像・石碑の移設	【整備可能な内容】 ○村松観光開発会館の再整備 ○シカ園等設備の再整備 【運営内容】 ○利用者の対応 ○イベントや独自事業の開催 【維持管理】 ○施設の日常管理

3. プレ・サウンディング調査項目（案）

テーマ	調査項目
事業/収益性	○周辺施設を活用し、収益を上げる事業は実施可能か ○周辺施設を活用した事業やイベントは実施可能か ○周辺施設等も含め、収益を上げるために必要となる事項は何か
運営年数	○事業を実施する場合には、契約年数はどの程度必要となるか
役割分担	○公園管理者側に整備を要望する内容等には何が想定されるか